

東京国際空港東側整備地区エプロン他舗装改良工事

南関東支社

東京国際空港で高強度PRC版 舗装を施工

東京国際空港東側整備地区エプロン他舗装改良工事(発注者:関東地方整備局 東京空港整備事務所)は、訪日外国人の増加に向けた東京国際空港(羽田空港)の国際線増便に対応するため、誘導路の一部をエプロン(駐機場)に整備する工事です。

離発着回数が多い東京国際空港において、施工箇所を日々供用しながら、限られた工期内で完成させたことにより、発注者から高い評価を受けました。



【高強度PRC版とは】

高強度PRC版とは高強度P(プレキャスト)RC(鉄筋コンクリート)舗装版の略称で長寿命・高耐久・高品質のプレキャスト製(工場生産したコンクリート部材)舗装版です。空港やコンテナヤードのように交通荷重が特に大きい場合や軟弱地盤に適し、工期短縮やライフサイクルコストの低減にも大きく貢献します。

現場の声



監理技術者 二本柳 知孝

深夜0時から早朝5時30分までという短い時間の中で舗装版撤去からPRC版据付けまでを行い、6時までに誘導路を使用できる状態にしなければならぬという厳しい条件の現場でした。施工中は、タイムスケジュールの管理と120tクレーンでの吊り作業のための安全管理が必要になります。他の作業と混在しないよう調整を行い、無事故で完成させることができました。



現場代理人 宮本 雄大

エプロンを増設するためのPRC版(標準2.5m×7.5m、最大重量15.3t)を当初240枚、追加165枚を日々開放で施工しました。1面を駐機場残り3面を誘導路に囲まれた現場条件の中、職員及び協力業者で一致団結し、無事に工期内に引き渡すことができました。

A プレキャスト版仮据付け



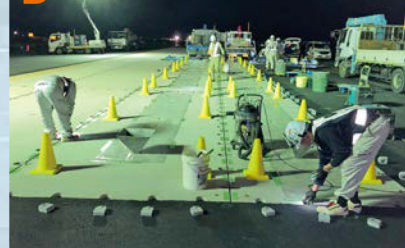
B 高さ調整・コッター継手仮締め



C 裏込グラウト注入



D 目地グラウト充填



E コッター継手トルク導入



■工事概要

工 事 名 東京国際空港東側整備地区
エプロン他舗装改良工事
施工場所 東京都大田区羽田空港
工 期 2018年10月25日～2020年3月27日
施工概要 高強度PRC版舗装工 約7,100㎡
NC舗装工 約2,700㎡

1日目

撤去工
(舗装版取壊し)

水平コアボーリング

A プレキャスト版
仮据付け

2日目

B 高さ調整・
コッター継手仮締めC 裏込グラウト注入
(20N/mm)D 目地グラウト充填
(60N/mm)E コッター継手
トルク導入コッター継手
蓋取付

跡埋工

3日目

注入目地